



岩手大学
IWATE UNIVERSITY

Iwate University Ihatov Fund Report 2022

岩手大学
イーハトーヴ基金レポート
2022

学長挨拶

ご寄附への感謝

2015年に創設された岩手大学イーハトーヴ基金は、2022年度も多くの皆様のご支援をいただきました。本学の活動へのご理解とお力添えに厚く御礼申し上げます。

本レポートは、岩手大学イーハトーヴ基金の2022年度実績および活動をご報告し、本学の取組をより多くの皆様にご理解いただくことを目的に作成いたしました。

2022年度は、新型コロナウイルス感染症に関連する対応で活動に制限もありました。そのようななかでも、皆様のご協力により、学生への修学支援や国際交流・留学生支援、課外活動支援等を実施することができました。

これからも岩手大学は皆様の期待にお応えできるよう、あらゆる努力を続けていく所存です。卒業生、保護者、地域の皆様、企業・団体等の皆様には、引き続き、本基金へ力強いご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



岩手大学長 小川 智

寄附の実績

2022年度の岩手大学へのご寄附

2022年度の岩手大学イーハトーヴ基金へいただいたご寄附は約3500万円となりました。本学の教育、研究、地域貢献に対する皆様のご理解と温かいご支援に深く感謝申し上げます。皆様からのご寄附は、寄附の目的に沿った、それぞれの事業に活用させていただきます。

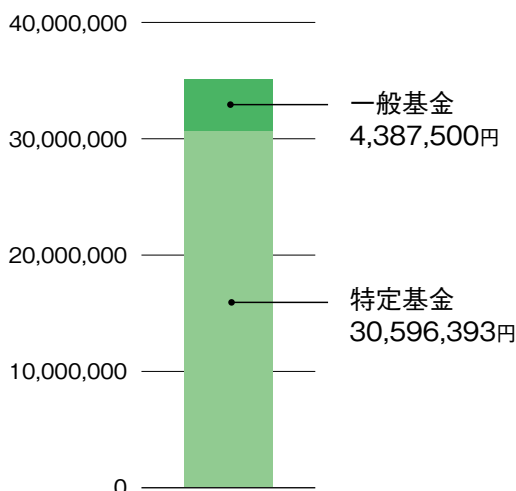
ご寄附金額

34,983,893 円

ご寄附件数

540 件

受入金額内訳



基金名称	件数	寄附金額(円)	
一般基金	278	4,387,500	
特定基金	すずらん基金	32	6,480,000
	キャンパス整備基金	1	5,000,000
	修学支援基金	36	4,627,000
	教育学部教員養成基金	147	562,000
	教育学部附属学校園基金	15	258,000
	理工学部未来チャレンジ	5	590,000
	農学部みらい基金	4	120,000
その他	22	12,959,393	

岩手大学イーハトーヴ基金へのご支援累計 (2015年12月創設～2022年度)

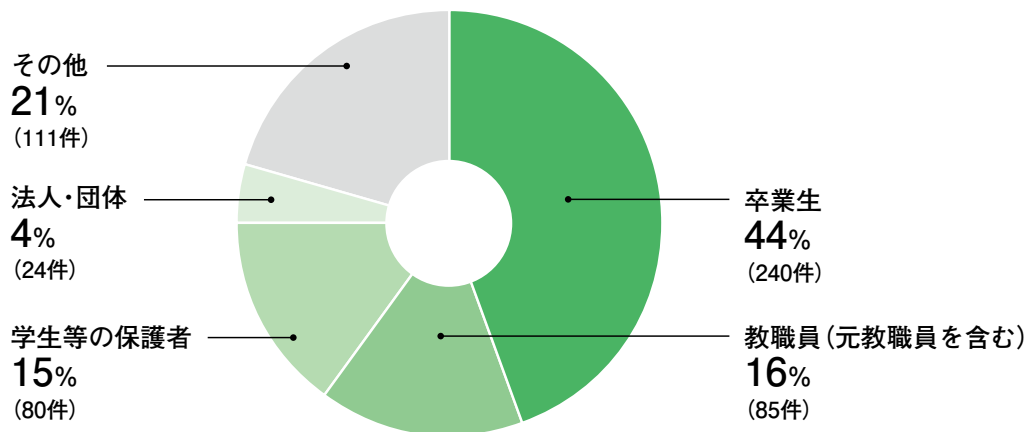
累計総額

231,264,923 円

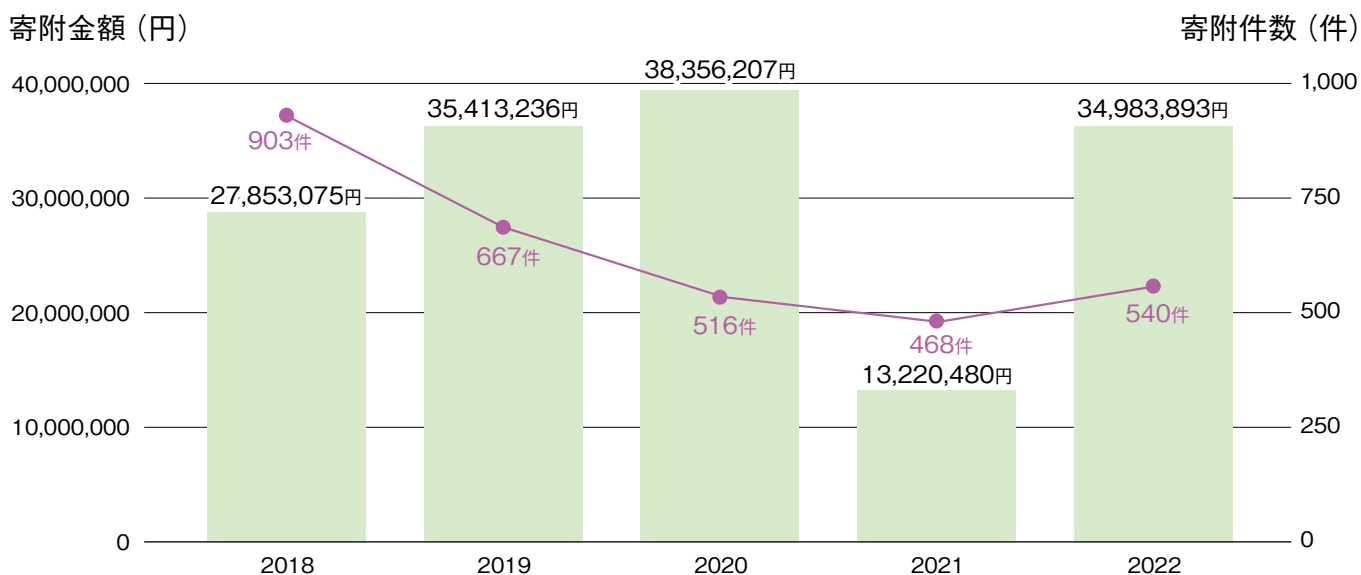
累計総件数

3,478 件

2022年度 寄附者の区分(件数)



岩手大学イーハトーヴ基金 過去5年間の実績



TOPICS

新特定基金「キャンパス整備基金」を創設しました！

より良い学修と研究環境のために、学内施設をリノベーションして、魅力的なキャンパスづくりを目的とした新しい特定基金が立ち上がりました。現在、中央食堂周辺の改修を目指して寄附を募集しています。キャンパス整備基金へのご支援どうぞよろしくお願いいたします。



オンラインチャリティーイベント「Giving Campaign 2022」開催

オンラインで岩手大学の学生活動へ応援を募るチャリティーイベント「Giving Campaign 2022」を開催しました。本イベントは、卒業生や保護者、地域の皆様に応援投票や寄附を呼びかけるもので、期間中には5,788人もの参加がありました。本キャンペーンを通じて応援や寄附をくださった皆様に感謝いたします。ありがとうございました。



活動報告

奨学金支援「ありがとう」の言葉

イーハトーヴ基金では、経済的な理由により修学を断念することがないよう、給付型の奨学金を実施し、学生をサポートしています。2022年度は60人の学生を支援することができました。本活動に「修学支援事業基金」を活用させていただきました。支援を受けた学生からの感謝のメッセージです。



農学部
の学生

獣医学科の教科書は非常に高額のため、欲しい教科書があっても図書館で借りることが多かったのですが、イーハトーヴ基金の支援により購入することができました。自分の教科書だと書き込みやラベルも貼れるので、勉強が捗りました。ありがとうございました。



理工学部
の学生

イーハトーヴ基金のおかげで、講義やゼミ、資格勉強などにたくさんの時間を割くことができました。本当にありがとうございます。

奨学金のおかげで高価な参考図書の購入や、TOEICを受験する事が出来ました。勉強で得られた知識と技術は何としても社会に還元するつもりです。「知る」喜びを提供していただきました寄附者の皆様には感謝の言葉しかありません。



農学部
の学生

この度は、修学支援奨学金の奨学生に採用いただき、ありがとうございました。私は経済的に厳しい状況にありますが、この奨学金を生活費に充てさせていただき、今年度無事に大学に通うことができました。ご支援いただいている全ての方々に心から感謝いたします。



人文社会科学部
の学生



理工学部
の学生

本奨学金のおかげで金銭的不安が解消され、研究活動や資格勉強等に集中することができました。援助していただき、本当にありがとうございました。



人文社会科学部
の学生

奨学金を受給できたことによって、法科大学院の受験を思い留まることなく、第一志望の法科大学院に合格できました。ありがとうございました。



教育学部
の学生

本当にありがとうございます。この奨学金のおかげで、教員採用試験のテキストを買い勉強に取り組むことができています。

学生の食生活支援「100円朝食・200円夕食」

2021年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた学生の食生活支援を目的に、学生食堂にて「100円朝食・200円夕食」を実施しました。「JA全農いわて」にも協賛いただき(2022年11月実施分)、岩手大学生協と連携して、最大400円相当の朝定食を100円(税込)で、最大480円相当の夜メニューを200円(税込)で学生に提供しました。注文開始前から行列ができるなど、学生たちに大変好評で、3回の実施期間中、延べ9,303人が利用しました。

本事業の実施には「修学支援事業基金」を活用させていただきました。本基金を通じて、学生がしっかり食べて、学業に励んでもらうための支援が可能となったこと、ご寄附いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



理工学部食堂で200円メニューを食べる学生たち



中央食堂のカウンターで食事を待つ学生たち

事業実施期間

- 「100円朝食」 2022年7月11日～28日、10月31日～11月18日
- 「200円朝食」 2022年12月5日～23日

盛岡さんさ踊り参加支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの開催となった「盛岡さんさ踊り」に岩手大学も参加しました。夏の一大イベントである、さんさ踊りパレードに岩手大学は毎年参加しています。参加にあたって、本学PRのための横断幕作成や、太鼓や笛などの修繕に係る費用をイーハトーヴ基金より支援しました。



2022年のさんさ踊りパレードは、参加人数制限やコース短縮等の感染症対策を実施して開催されました

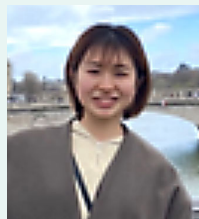
国際交流・留学生支援「ありがとう」の言葉

イーハトーヴ基金では、学生の国際交流や留学の支援を実施しています。2022年度は、交換留学支援を10人に、短期海外研修支援を8人に、外国語検定試験に係る検定料等支援を1人に、外国人留学生の支援を20人に実施しました。本支援事業は「一般基金」を活用させていただきました。学生からの感謝のメッセージをお届けします。



人文社会科学部
小山田 彩乃 さん
交換留学支援を受けて
台湾へ留学

イーハトーヴ基金でいただいたお金は飛行機のチケット代、隔離タクシー代、隔離ホテル代として使わせていただきました。私が台湾に留学のために行く時は飛行機のチケット代が高くなっていたり、7日間の隔離が必要であったりと、今までの留学と比べて多くの費用が必要でした。寄附金による支援を受けられたことにより、充実した留学生活を送ることができました。皆様の温かいご支援に、心より感謝申し上げます。



人文社会科学部
佐々木 理名 さん
短期海外研修支援を受けてフランスに滞在

今回ご支援頂き、フランス短期研修に参加をして本当に良かったと思っています。西部カトリック大学での授業やアンジェでのホームステイの生活はとても充実した時間でした。クラスでは、様々な国や年代の学生と会話ができました。ロワール城への遠足など印象に残る活動もありました。ホストマザーとは文化の違いに気付きながらも、よい関係を築けたと思います。習字道具を持っていき、皆で書道体験をしました。卒業前にこのような経験ができ、感謝でいっぱいです。ご寄附くださった多くの方々の支えのおかげです。ありがとうございました。

ロボットコンテストに出場 (SPASE)

学生団体「SPASE」が、大規模都市災害における救命救助活動を題材としたロボットコンテスト「レスキューロボットコンテスト2022」(主催:レスキューロボットコンテスト実行委員会、神戸市)に出場するための経費をイーハトーヴ基金で支援しました。SPASEは、2022年6月に開催された予選を通過し、全国から選抜された14チームの一つとして、同年8月に神戸市で開催された本選に出場することができました。



本選会場となった神戸サンポートホールの前で

東北吹奏楽コンクールで金賞受賞(吹奏楽部)

2022年9月3日に福島県いわき市で開催された「第65回東北吹奏楽コンクール」(東北吹奏楽連盟、朝日新聞社主催)に、本学の吹奏楽部が岩手県代表として参加しました。参加のための交通費や宿泊費、楽器の運搬費をイーハトーヴ基金から支援しました。コンクールでは本学として6年ぶりの金賞を受賞することができました。



コンクール直前練習の様子

TOPICS

特定基金 女性活躍・ダイバーシティ推進基金(すずらん基金)

菊地ロク・フェローシップ創設

2022年に創業111年を迎えた川嶋印刷株式会社(平泉町)より、すずらん基金に対しご寄附をいただきました。この度のご寄附をもとに創業者の祖母である菊地ロク氏(1899-1976)のお名前を冠したフェローシップを創設しました。本フェローシップは本学女性教員の研究支援に活用します。詳細はダイバーシティ推進室HPをご覧ください。



ダイバーシティ推進室HP



菊地ロク・フェローシップ協定書調印式の様子

未来が少しでも
良くなるように、
できることを

佐藤 康毅 さん

福島県出身。1987年、岩手大学農学部農芸化学科を卒業、1989年、岩手大学大学院農芸化学専攻を修了し、化学メーカーで農薬の開発や新規酵素の探索等に携わる。その後、有限会社やまろく商店(1912年に米屋として創業し、現在は、農業資材の販売、米の集荷販売、有機農業の推進、ライスセンター事業などを営む)に入社。2002年には、農家や一般の方が手軽に農業資材を購入でき、作った農産物を地元の人が購入できるよう「農家の店ファームランド やまろく」をオープンし、現在は二社の代表を務める。

佐藤康毅さん。
インタビューは福島市内にある
老舗の喫茶店「珈琲の街」で収録した

心の拠り所としての岩手大学

私は人が多い場所が苦手なので、自然豊かで、心置きなく勉強できる岩手大学を志望しました。農業への憧れもあり、農芸化学科に進むことにしました。岩手大学の農学部は優秀な人がたくさん卒業しています。私自身もその一員になれたらいいな、という気持ちもありました。入学後、やりたかったことから離れていると感じて悩んだ時期もありましたが、研究室に配属されてからは研究に夢中になっていったのです。大学院にも進み、修了後は自分の好きな研究ができる企業を希望して、化学メーカーに就職しました。

岩手大学には研究に集中できる環境があります。人がのびのびしているところも好きです。私は今でも学生時代の仲間と電話で話したりします。今は福島に住んでいますが、何かあると岩手の仲間たちが

教えてくれます。仕事でもわからないことがあれば、農業関係の研究をしている友人に連絡して資料などを送ってもらいます。岩手大学で私は得難い仲間を手に入れました。

大学生活で思い出に残っているのは、岩手大学合唱団に所属していた時のことです。夏には、泊りがけで地域の小中学校へコンサートに行く「演奏旅行」をしていました。お金もないので公民館などに泊まるのですが、地域の食堂や銭湯などで、学生だからとサービスしてもらったことなど、行く先々で親切にいただいたことを懐かしく思い出します。卒業後、時間の経過とともに、多くの人に巡り合いながら、自分が岩手大学の卒業生らしくなってきたと感じました。学生時代は周囲がみんな岩手大生なので特に意識することはありませんが、社会人になっ

てから出身大学について話す機会があります。そんなとき、私にとって岩手大学とは何だったんだろう、いったい私は何を学び、大学はどんな人間になることを私に期待していたのだろう、そんなことを考え始めました。また、仕事で壁にぶつかったとき、心の拠り所のようなものが欲しいと思ったことがあります。そうしたときに、農学部の特徴のような存在である宮沢賢治なら、どのように問題を解決しただろう、と自分を宮沢賢治に置き換えてみました。先の見えない人生において、自分のバックボーンに戻って考えられるような、そんな理想像があることは幸せです。岩手大学で何を学び、学んだことからどのような答えを出すべきか考えるという繰り返し、私を岩手大学の卒業生らしくしたのだろうと思います。

経済的な理由で 修学が難しい学生を支援したい

小学校4年生の時、父が死にそうになったことがありました。奇跡的に生き延びたのですが、もし、父が助からなかったら、どうなっていたらと思うことがあります。私は大学に行けなかったかもしれないし、今のような人生はなかったと思います。

若くして祖父が亡くなったため、祖母は父をはじめとする多くの子どもたちを女手一つで育てましたが、経済的に厳しく、その日の食べるものも大変という生活だったそうです。父は高等小学校を出てすぐに就職しました。父は優秀で一生懸命に働いたそうですが、学歴社会の風潮が強い時代だったので、昇進は難しかったと聞いています。そんな父は、子ども達には好きなように勉強させたいと思っていたのではないのでしょうか。おかげ様で私は、苦勞することなく学生時代を過ごすことができました。父の想いを引き継ぎ、受けた恩を次世代に返さなければいけません。経済的な理由で勉強が続けられないことは、悲しく悔しいことであり、この世界から少しでも無くす努力が必要です。勉強を続けたことで、世界

に貢献できる人になる確率が高くなります。人類にとっての大事な芽を育てなければいけないと思います。これからも経済的な理由で修学が難しい学生がいれば、サポートしたいです。

学生時代、家からの仕送りがない同級生もいました。その点で私はとても恵まれていました。同級生が奨学金を返すように、私は寄附をしているだけです。寄附をするとモチベーションも上がります。「良いことをした」と自分を誇らしく思うと同時に、「これからも皆のためにがんばって働こう」という意欲が湧きます。できることはやらなければ、という気持ちで寄附を続けています。

これからの岩手大学には、未来が少しでも良くなるように取り組むことを期待しています。大きなことはできなくてもいいです。身近な人を幸せにできるような、そんな人が育ってくればいいですね。危機的状況といわれる時代に、未来を良くできるかどうかは、みなさん次第です。応援しています。



福島駅から徒歩約8分、石畳の商店街「文化通り」にて

寄附のご案内

岩手大学ではイーハトーヴ基金へご寄附いただいた皆様に感謝の意を込めて、以下の特典をご用意しております。

すべての寄附者の皆様

感謝状の贈呈

ご寄附いただいた皆様全員に、学長からの感謝状を贈呈させていただきます。



ご芳名の掲載

イーハトーヴ基金HP及び広報誌にて、ご芳名を「岩手大学イーハトーヴ基金寄附者芳名録」として掲載させていただきます。

10万円以上のご寄附をいただいた皆様

10万円以上ご寄附いただいた皆様には、本学構内(本部棟または学生センターA棟)の顕彰銘板に、ご芳名を掲載させていただきます。ご寄附の金額に応じたプレートをご用意しています。

プレートの種類

ゴールド
50万円以上

シルバー
30万円以上

ブロンズ
10万円以上



※ご芳名の公開を希望されない方につきましては、掲載いたしません。ご芳名は「基金寄附申込書」「払込取扱票(振込通知書)」に記載されたお名前を掲載します。ご寄附金額の公開を承諾いただいた皆様につきましては、HPに金額も掲載させていただきます。

寄附の申込方法

本学では、書面またはインターネットにてご寄附を受け付けております。また、様々な方法でご寄附をお受けしておりますので、下記詳細をご覧ください。

クレジットカード決済、コンビニ決済、Pay-Easy決済

寄附支払いサイト<F-REGI>からご寄附を受け付けています。

①イーハトーヴ基金HPのトップページ上の「寄附をする」ボタンへ進む



イーハトーヴ基金HP
トップページ

②「クレジットカード決済、コンビニ決済、Pay-Easy決済を利用して寄附する場合」欄の「F-REGIサイトから寄附をする」ボタンへ進む

③F-REGIサイトが開いたらページの最下部にメールアドレスを登録する

④登録したメールアドレスに届いたインターネット納付用URLにアクセスし、必要情報を入力する

※お申し込みから領収書の送付まで1~2か月程度の期間をいただきます。領収書の日付は、寄附申込完了日ではなく、本学に入金があった日付となりますのでご注意ください。

● ご利用いただけるクレジットカード



● ご利用いただけるコンビニエンスストア

セブン-イレブン、ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、セイコーマート

銀行振込

銀行振込(手数料有料)をご利用いただく場合は、下記のフォームへ進み、必要事項入力の上、送信してください。メールにて振込先銀行口座情報をお知らせいたします。



銀行振込
申込フォーム

郵便振替

イーハトーヴ基金パンフレットにある払込取扱票に必要事項をご記入の上、最寄りのゆうちょ銀行・郵便局窓口にて払い込み手続きをお願いします。払込取扱票付パンフレットがお手元ない場合には、岩手大学基金室までお問い合わせください。

継続寄附

クレジットカード決済により定額の継続寄附が可能です。ご支援金額は、1,000円から任意の設定をしていただけます。寄附支払いサイト<F-REGI>(※上記クレジットカード決済の詳細をご覧ください)の寄附方法の選択から毎月、毎年等、頻度を設定してください。

※ご寄附いただいた金額は累計されます。



発行/国立大学法人岩手大学 基金室
〒020-8550 岩手県盛岡市上田3-18-8
Tel:019-621-6091 Fax:019-621-6014
Email:kikin@iwate-u.ac.jp



イーハトーヴ基金HP



イーハトーヴ基金X
(旧 Twitter)